

1 学校の沿革・校区の概要

(1) 学校の沿革

	深川小学校	須川小学校	大原小学校	高根小学校	向峠小学校	宇佐小学校
昭和22年	深須村立深川小学校と改称	深須村立須川小学校と改称	高根村立大原小学校となる	高根村立高根小学校と改称	高根村立向峠小学校となる	高根村立宇佐小学校となる
昭和30年	錦町立深川小学校と改称	錦町立須川小学校と改称	錦町立大原小学校と改称	錦町立高根小学校と改称	錦町立向峠小学校と改称	錦町立宇佐小学校と改称
昭和53年	深川小学校と須川小学校を統合 深須小学校となる		大原小・高根小・向峠小・宇佐小の4校でたかね集合学習を行う			
昭和54年	花いっぱい優良校となる		緑の少年隊活動に参加			愛鳥活動推進校
平成11年	深須小学校が集合学習に参加し、やまびこ集合学習となる(5校)					
平成13年			4月休校高根小に統合	統合に向け校舎改築		4月休校高根小に統合
平成14年	4月休校			4月閉校	4月休校	
	錦町立宇佐川小学校					
	4月、向峠小と深須小の一部と統合し、錦町立宇佐川小学校として発足する 8月、トイレの改修工事が行われる					
平成15年	5月、愛鳥週間全国野鳥保護のつどいイベントに参加					
平成16年	4月、パソコンルーム、会議室を設置する 12月、音楽準備室整備					
平成17年	4月、やまびこ教室設置 8月、岩国教育情報ネットワーク整備					
平成18年	岩国市立宇佐川小学校					
	3月、岩国市立宇佐川小学校となる(市町村合併による) 11月、岩国市・和木町科学振興展覧会において最優秀賞(学校賞)受賞					
平成24年	10月、山口県花いっぱいコンクール山口県知事賞、岩国市長賞受賞					
平成25年	10月、山口県花いっぱいコンクール岩国市議会議長賞受賞					

(2) 校区の概要

本地域は、中国山地の中ほどに位置し、広島県・島根県との県境にある。周囲には、羅漢山・寂地山・小五郎山など1000m級の高峰がそびえている。その山間を錦川の支流である宇佐川が四季折々の自然の変化を映して流れ、文字通り山紫水明の地である。山間部には段々畑が開けているが、農林業ともに規模は小さく、兼業農家が多い。

人口は、昭和38年をピークにして若年層の流出がひどく、過疎化・高齢化が進んでいる。児童の数も激減したことから学校統合が行われ、平成14年度より「宇佐川小学校」として新たにスタートした。校区も広がったことから、スクールバスでの通学も行われている。